

## ロッキーズ日本語アカデミー 2018年度 シラバス

クラスレベル:のぞみ1組 (青グループ)

対象年齢:9歳以上

授業時間:3時間(9:00～12:00)

### 1. 授業内容とねらい

本グループでは、小学三年生の国語教科書を用い、読み書きの基礎的な能力（文章を読んで想像し理解する力、語彙、文法知識など）を固め、それを活かして中学年の文章を読み解く力をつけることを第一の目標とする。

さらに、クラス内での全ての活動を通し、読解したり調べたものを発表する、音読する、レクチャーを聴くといった形で、日本語の「4技能」(聞く・話す・読む・書く)を、バランスよく表出することを意識して授業を行い、それぞれにおける言葉の使い方の指導にも重きを置く。

また、限られた学習時間を最大限に活用するために文法に特化した教材を利用して、思考力・判断力・表現力の表出と車の両輪の関係にある基礎的・基本的な知識・技能、つまり言語についての知識・理解・技能も同時に鍛えていく。

### 2. 授業計画(重点的に扱う内容)

- 教科書の单元ごとに、4技能を満遍なく使用した学習活動
- 既習漢字(小学校1～2年生に学習する範囲)の積極的な活用
- 新出漢字(小学校3年生に学習する範囲)の導入
- 国語教科書(数・種類ともに)より多くの文章に触れ、さらに国語辞典の活用による学習言語の語彙の増強
- 国語教科書を利用した音読と文章読解問題を活用した日本語での理解力の増強
- くもん問題集を通しての既知の文法事項の整理及び新出文法事項の定着
- 30秒スピーチを通じた即興での作文・口頭発表の機会の確保
- 日本文化・行事・習慣へ親しみ、その理解を深める。
- プロジェクト活動を通して日本語能力の総合的な運用

### 3. 課題・宿題

①語彙の幅を広げることを目的とした動画視聴、②日記の作成、及び③国語授業の予習復習としての教科書音読を、今年度の宿題とする。年間を通した学習範囲及び宿題の一覧表を配布するので、それを各自で確認したうえで学習・宿題を進めること、またそれについての保護者の確認作業が求められる。

なお、原則として、毎週の授業で宿題の確認作業を行うこととするが、現地校での生徒の多忙さ等を考慮し、遅れる場合はその旨を担当に伝え、2ヶ月に1度のロングターム日に確認を行えばよいものとする。※ロングターム日については一覧表に記載。

### 4. 使用教材

- 光村図書 『国語(三)上 わかば』
- くもん出版 『ことばと文法 集中学習 小学3年生』
- 文理 教科書ワーク国語3年光村図書版
- 漢字・漢和辞典
- 国語辞典
- 国際日本語普及協会 『かんじだいすき(二)』
- その他自作教材

### 5. 評価方法

漢字テストなどの点数化できる活動においては点数で、それ以外の活動はこちらの設定するねらいが達成できているかどうかを判断する。なお評価はあくまでも、各家庭の取り組みや生徒自身の努力を認めるためにあるもので、生徒の能力を決めるものではない。

### 6. 生徒・保護者への指示と伝達

- 各家庭で日本語教育に関する目標や方向性を十二分に話し合い、それを達成するための手立てを考え、担当講師に必要な手助けを求めること。
- 担当講師から保護者への連絡は、メールまたは各生徒のノートを用いる。また授業日に実施した漢字テストや使用したプリントは、各生徒が一度持ち帰り適宜家庭での確認を経たうえで、次週、担任の保有する個人ファイルに綴じて保管することとする。

- 週に1度の週末学校であるので、欠席はできる限りしないように心がける。やむをえない場合には、その都度担当講師まで連絡をし、欠席分を取り戻す時間を必ず保護者主導で設けることとする。また定期的に、もしくは長期的に欠席が予定・予測される場合は、分かる範囲ごとにその予定を一覧にしてのぞみ1組及びディレクターのメールアドレス宛に送るようにする。
- 保護者面談を年度の序盤(9月)と年度の終盤(4月)に実施する。